

御祭神 年間行事予定

御祭神

植物の元生産親様

皇親神漏樹命（すめらかむつかむろぎのみこと）

動物の元生産親様

皇親神漏美命（すめらかむつかむろみのみこと）

人祖・初代・伊邪那岐尊（いざなぎのみこと）

平成23年の行事予定

月並み祭

毎月祭第2月曜日・祭事は、11時より

平成二十六年 特別祭事

立春祭 2月 4日（火）

祈年祭 3月20日（木）春分の日

夏至祭 6月21日（土）

例大祭 8月10日（日）

新嘗祭 11月23日（日・祝）

鎮魂祭 12月22日（月）冬至の日

各祭事は、11時より行います



大杉神社奉賛会

<http://www.kitora369.org>



北原竜宮 大杉竜王

初代人祖「伊邪那岐尊」の御魂処

親光

大杉神社



平成二十六年

北原竜宮 大杉竜王

由来書略記

由縁書略記

鎮座地 滋賀県彦根市武奈

御祭神 三神

生命継承権憲邪せいめいけいししょうけんけんじゃ

植物の元生産親様しょくぶつのもとうみおやさま

皇親神漏樹命すめらかむつかむろぎのみこと

動物の元生産親様どうぶつのもとうみおやさま

皇親神漏身命すめらかむつかむろみのみこと

人間 皇祖初代・伊邪那岐尊いざなのみこと

御鎮座 約七百二十万年前

由緒

今から凡そ七百二十万年前に、丹波の国の
たかあまはらまないはらたにわ
貴天原真那井原丹庭現在の京都府宮津市大垣

「天橋立」にあります籠神社奥宮の地)に、人間と
ごなんさんじょ
して「絶対に争い戦いは致さぬ、御難賛助の
てんかい
うけひ御誓約」を天津におわします。
だいしょうぶ むかご
大正腑の神(天神)と約束され、零迦児として皇祖
いざなぎのみこと・いざなみのみこと
初代・伊邪那岐尊・伊邪那身命のお二方は御降臨遊
ばされました。

おにゅうどうじ おにゅうどうじょ
幼年期を大丹生童児・大丹生童女と申し、大丹生童
児さまは男の六根を磨くために、大丹生童女さま
は女の六根を磨くために、若狭の地にてお別れさ
れ、それぞれ動物たちをお供にされて旅をされま

した。大丹生童児さまと大丹生童女さまは成人さ
げつやけんぐう
れたとき、現在の三重県伊勢市にございます。月夜見宮
やにわ
があります弥丹庭の森にて再開され、結婚されて皇祖
いざなぎのみこと いざなみのみこと
初代・伊邪那岐尊・伊邪那身命を名乗られました。
とどのみや
そのお二人は現在の多賀大社の旅所であります調宮
くるす
「栗栖の地」にて、男子十九名・女子十九名の三十八名の
おこ うみ
御子を生産育てになり、その御子を天命により靈仙山の山
頂につど集わせに成り、一人ひとりに、天に向かって一言
てんかい
ずつ違った発声をおさせになれば、天津より一言ずつ違
てんじょうてんかい おん
ったことだま言霊を戴かれ、天上天津よりの三十八音と、
おん ことだま
地上三十八音の言霊を以って、七六音(なむ)の靈言言霊
やまとことば
による大和詞を完成されました。
おはたら
その後、五千年位御活動き気になられた皇祖初代・伊邪那
岐尊さまは、一生涯を終えられるときに此の地に山入りさ
れたので御座居ました。
尚、皇祖初代・伊邪那身命さまの山入は、此の地より未
申の方角にあります比婆山にひば比婆大神としてお祀
りされています。法師は、記紀により塗り替えられた偽
りの歴史ではなく、真実の歴史を伝える為に、この地に
あった大杉の幹にしめなわ注連縄をはり、三神(植物・
動物・人間)をお祀りされました。

びわ湖に住まわれる金の皇帝竜様が、初代人
祖伊邪那岐尊の御魂処をお守りされている神
聖な処です。また、その南西(裏貴門)には、
初代人祖「伊邪那身命」の御魂処比婆神社が
ございます。

御神徳

夫婦和合・恋愛成就・家内安全・病氣平癒



<http://www.kitora369.org>

北原竜宮 大杉竜王

事務局: 武田善和
滋賀県彦根市西沼波町847番地

電話 0749-22-5945
Fax 079-22-3293
Email takeda@kitora369.org